

土壌の可給態窒素を活用した雨よけトマトの窒素減肥技術

【1 成果概要】

- (1) 土壌の可給態窒素（地力窒素）が多いハウスでは、追肥窒素を減肥することができます。
- (2) 土壌の可給態窒素量が 4 mg/100g 以上の場合、窒素成分で 10a 当たり 3～6 kg の追肥窒素を減肥しても標準施肥と同等の可販果収量を得ることができます。
- (3) 追肥窒素を減肥することにより、裂果等の規格外果の発生が抑えられ可販果率が向上します。

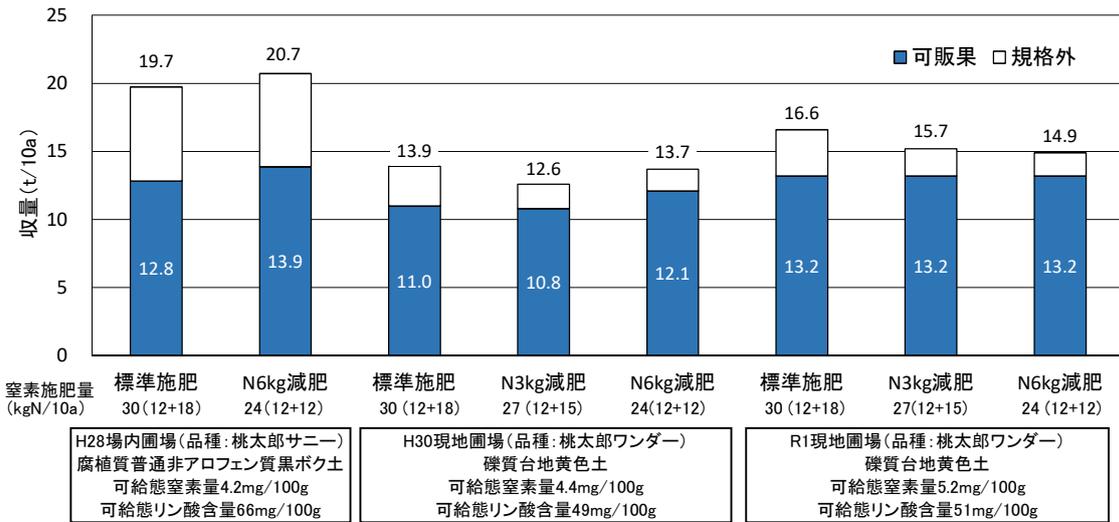


図1 窒素減肥量とトマトの総収量・可販果収量の関係

- ※1 定植：5月下旬 収穫：第12花房まで
- ※2 リン酸・カリの施肥量は県基準（岩手県農作物施肥管理指針）による
- ※3 岩手県青果物等標準出荷規格に準拠し、果重 120g 以上のA級品およびB級品を可販果とした

表1 トマト果実の品質区分（重量%）

調査年	窒素施肥量	可販果	規格外果				
			裂果	乱形果	尻腐果	小果	その他
H28 場内圃場	標準施肥	65.0	15.8	8.4	0.0	3.6	7.2
	N6kg減肥	69.0	12.0	10.3	0.3	3.8	4.6
H30 現地圃場	標準施肥	79.0	15.4	1.0	0.0	3.7	0.9
	N3kg減肥	86.1	10.6	1.3	0.0	1.2	0.8
R1 現地圃場	N6kg減肥	88.3	6.5	0.5	1.0	2.9	0.8
	標準施肥	79.1	16.8	0.5	0.6	3.0	0.0
R1 現地圃場	N3kg減肥	84.2	12.1	0.0	0.0	3.0	0.7
	N6kg減肥	88.4	7.0	0.1	0.0	4.5	0.0

【2 成果の留意事項】

- (1) 簡易評価法等による可給態窒素量の評価結果を踏まえて本技術の適用を判断してください。
- (2) 土壌中にリン酸やカリが蓄積したハウスでは、リン酸やカリも減肥することができます。
- (3) 「りんか409」においても本技術が適用可能であることを確認しています。